

研究「妊娠初期流産の治療成績の検討」へのご協力をお願い

1. 研究の背景と目的

日本では、妊娠初期流産に対する治療は待機的管理あるいは外科的治療（子宮内容除去術）が選択されていますが、どちらが優れた治療法であるかの報告は少ないです。そこで、当院での妊娠初期流産に対する治療成績を検討することで今後の診療に活用することを目的としました。

2. 研究対象者

2017年1月1日から2020年12月31日の間に、当院で妊娠12週未満の流産と診断された単胎妊娠の方を対象とします。

3. 研究期間

臨床研究倫理審査委員会承認後～2024年3月31日

4. 研究方法

研究対象者背景、流産診断時の状態、治療経過、合併症について診療録を用いて後方視的に検討します。

5. この研究に参加することの利益・不利益

本研究は既存情報を用いた研究であり、直接的な利益は生じません。しかし、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。また、研究対象者に対して介入を伴うことがないため、不利益は生じません。個人が特定されることのないよう情報の取り扱いに配慮して行います。

6. 同意と拒否

本研究の実施についての情報を当院のホームページに公開することにより、直接の説明や同意をいただく手続きに代えさせていただきます。対象者に含まれていると考えられ、本研究に同意いただけない方は担当者まで御連絡ください。

7. 担当者

施設名：山口県立総合医療センター（代表：0835-22-4411）

責任者：生殖医療科 診療部長 浅田裕美